

CITIZEN 電波時計 (デジタル掛・置兼用時計) 取扱説明書

取扱説明書番号 D018-CXXZ

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 見やすい大きなデジタル表示
- 置いても掛けても使える
- 温度と湿度を同時表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒930-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。



(Y0706)

安全にお使いいただくために (はじめにお読みください)


ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

	この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■誤飲による事故防止について

 小さな部品や小形の電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

■アルカリ電池について


- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

■電池について



電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。
- 新しい電池と古い電池、種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 電池はすべて指定の新しい電池をご使用ください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子 (接触部) の汚れを落としてから入れてください。

■液晶について

 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。


お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


■使用場所について

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃ (50度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。(性能が低下することがあります。)
- 浴室など湿度が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

分解禁止

 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

注意

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品 (電子回路・歯車等) は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品 (ケース・文字板等) の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、製品番号 (型番) 「8RZ066」をお伝えください。

お問い合わせ先
(フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005
受付時間 9:00～17:00
(土日、祝日および当社休日を除く)

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご利用になるときには、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻合わせをしておいでください。

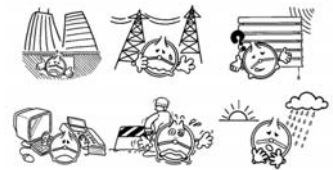
標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近くビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く、スチール机等の金属製家具の上や近く



6 電波受信スイッチ

電波受信スイッチをONにすると定期的に標準電波を受信し、受信に成功すると時刻およびカレンダーを自動的に修正します。

電波を受信しないで手動で時刻合わせをして使用するときは、OFFにしてください。

7 強制受信とリセット操作

- 強制受信は、場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。手動で時刻合わせをしているときは強制受信操作はできません。
- リセットボタンは、電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2007年1月1日午前12:00に初期化されます。

8 静電気による誤作動

静電気の影響により誤作動し、正常に表示しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

9 温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えた場合の表示

温度: 「HH.H」 50℃より高温 「LL.L」 -9.9℃より低温

湿度: 「HH」 95%を超えた 「LL」 20%未満

湿度は温度が5℃未満または50℃を超えると「--」表示になります。

Ⓧ本製品は室内用ですので、室内の温度・湿度の計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

おもな製品仕様

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合 (受信直後) 表示精度 ±1秒以内 ●標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒 (常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10～+50℃ (注)
使用電池	単3形マンガン乾電池 (JIS規格 R6P) 2個
電池寿命	約1年間
その他	標準電波 標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 1日8回 電波受信機能ON/OFF切り替え 時刻表示 12時間/24時間制切り替え表示 カレンダー 2007～2099年 西暦、月日 温度 -9.9～+50℃ ±2℃ 湿度 20～95% ±10% (周囲温度範囲5～50℃) 電池の交換時期お知らせ機能

(注) 0～40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。

○付属の電池は工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

○液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。

○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

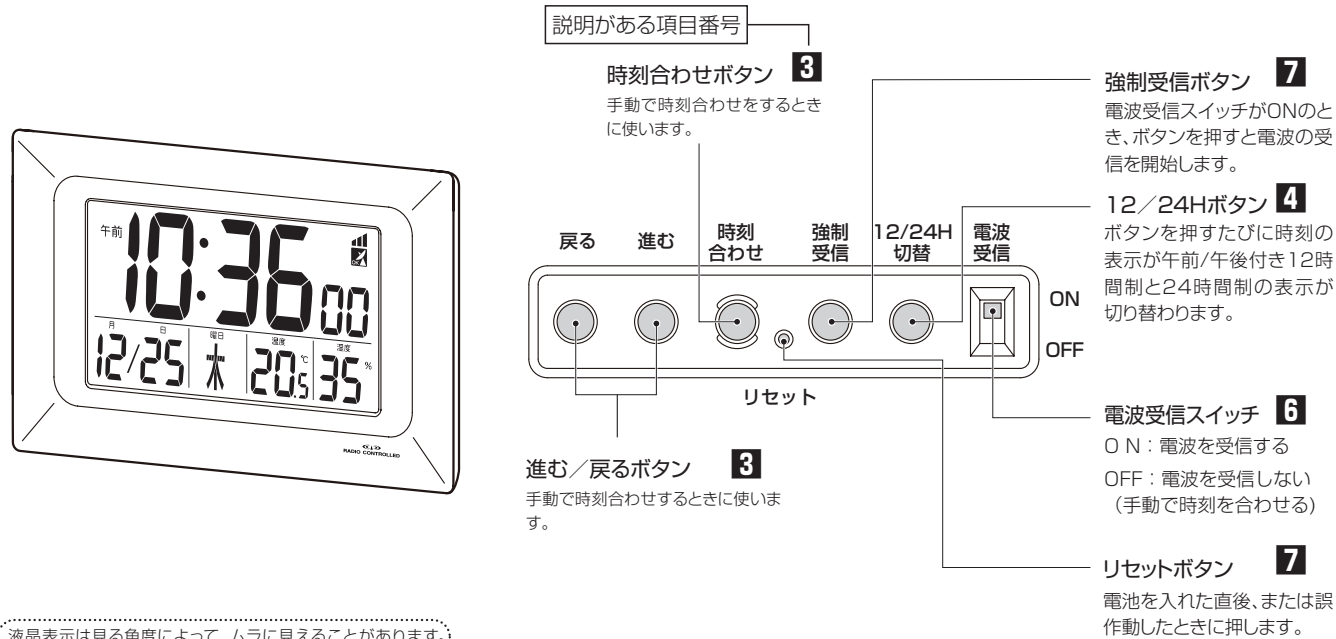
お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けたとき、静電気により時計および壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。この製品によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

【裏面操作部】

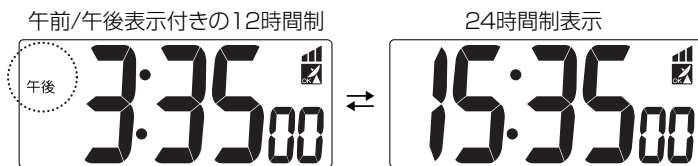


液晶表示は見る角度によって、ムラに見えることがあります。

4 表示の切り替え

12時間制と24時間制の表示切り替え

12/24Hボタンを押すたびに交互に切り替わります。
※電波の受信中および現在時刻の設定中は切り替えができません。



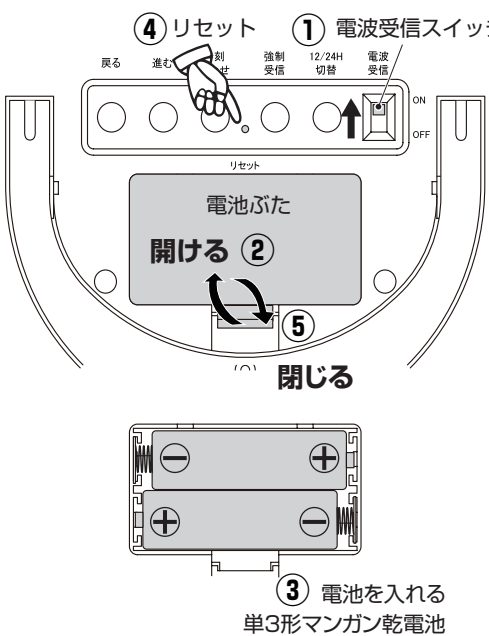
5 電池交換時期のお知らせ

電池の交換時期になると、マークが表示されます。このマークが表示されたら、お早めに電池を交換してください。

電池からの液もれに注意

時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計や家具などに損傷を与えます。表示が薄くなったり、時計が止まったら電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

1 電波を受信して時刻を合わせる



- ① 電波受信スイッチをONにする
- ② 電池ふたを取り外す
- ③ 電池を入れる
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れます。
- ④ リセットボタンを押す
ボールペンの先などで押してください。
- ⑤ 電池ふたを取り付ける
- ⑥ 約21分後に受信結果を確認する
【受信の流れと表示】参照。

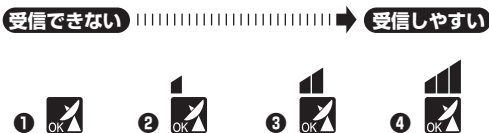
※窓際など電波を受信しやすいところに置いてください。
※手動で時刻を合わせるときは、「③ 電波を受信できない場合」の「手動での時刻の合わせ方」を参照してください。

※受信中はボタンに触れないでください。
電池の交換について
• すべて指定の新しい電池に交換し、リセットボタンを押してください。
• この時計はマンガン乾電池の特性に合わせて設計されていますので松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」を使用しないでください。使用した場合、正常に機能しない、電池寿命が短くなるなどの障害が発生することがあります。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)



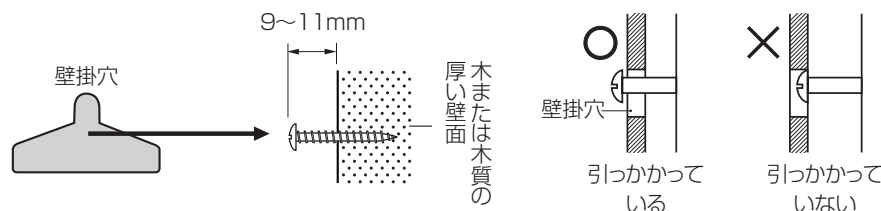
チェック!

1~2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

2 時計の設置

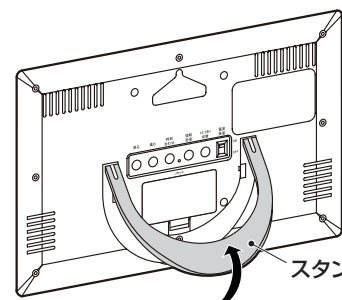
掛ける 掛時計としてご使用になるときは、落下防止のため確実に掛けてください。時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。
強制 **注意** 時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



- 上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。
- 掛けて使用するときにはスタンドをきっちり収納してください。

置く 置時計としてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。
※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。



注意 無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

3 電波を受信できない場合

操作例 2008年12月25日 午前 10:36 に合わせる

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直します。つぎにリセットボタンを押して受信を開始させます。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

■ 手動での時刻の合わせ方

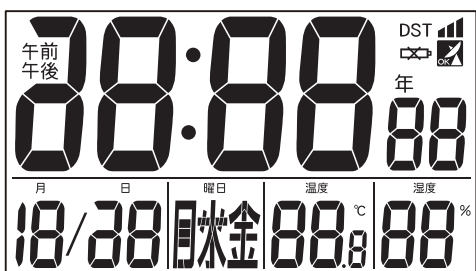
- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
- (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。
 - 進むまたは戻るボタンを押し続けると早送りになります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
- ◎操作例を参考にして合わせてください。
※電波受信スイッチがONの場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。⇒【6 電波受信スイッチ】
※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- ※電波を受信できない場合は、平均月差±30秒になります。



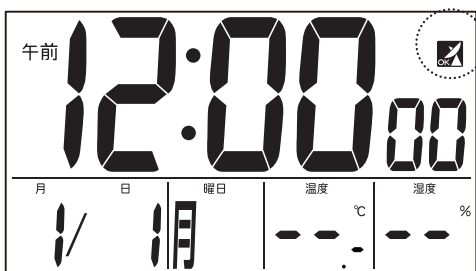
○時刻表示は12/24時間制がありますので、表示に注意して時刻を合わせてください。
○電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



〈受信開始〉



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2007年1月1日 午前12:00に設定される。

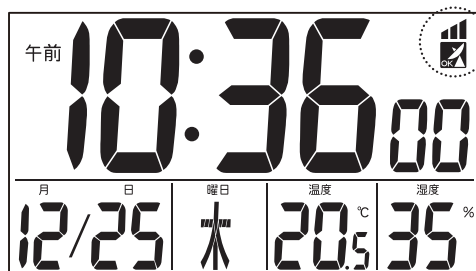
最長21分後

受信に成功すると
受信マークが点灯

受信マークは受信成功後
約24時間点灯します。

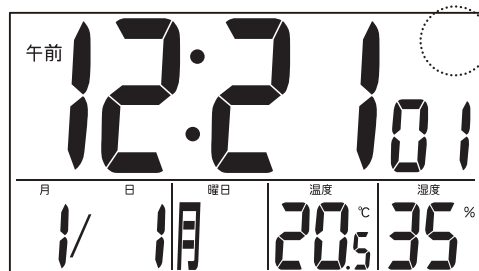
受信マーク消灯
失敗!

〈受信終了〉



※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

(受信に成功したときの表示例)



※受信に失敗した場合は、表示されている時刻は正しくありません。

(受信に失敗したときの表示例)